

平成 30 年 5 月 21 日

調 査 研 修 報 告 書 (議 員 用)

報告者： 横路政之

実施場所：千葉県柏市教育委員会、保健福祉部

実施日：平成 30 年 5 月 17 日

■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など）

- ・いじめアプリ（STOPit）導入によるいじめ防止対策。
- ・健康な時期から要介護の間（フレイル期間）に着目した介護予防について。

■参考とすべき事項

- ・いじめの早期発見・早期対応・抑止力を目的とした 2 つの取り組み
 - ① 「ネットいじめを許容しない集団の雰囲気醸成のための授業の実施」
 - ② 「STOPit アプリの導入」アプリ導入でいじめ以外の悩みの相談にも対応できている。
- ・フレイルチェックを通じて、栄養・運動・社会参加など日常生活の活性化がなされている。
- ・健康寿命に必要な、運動以外の要素を取り入れた介護予防を実施している。

■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など）

- ・いじめ対策において本市では様々な取り組みや授業をしているが、若者にとってネット世界は仮想現実ではなく、日常生活とつながる拡張現実という実態がある。柏市の取り組みを取り入れてもいいのではないかと考える。
- ・フレイル（健康な状態と機能障害との間の「移行状態」）での予防という考えを浸透させれば、介護予防は進むと考える。本市では、シルバーリハビリ体操を推進しているが、この取り組みと併用することで効果は増すと考える。